

美咲特別支援学校

令和4年度
第9号
(R5.1.25)

本紙は学校の取組や子ども達が頑張っている様子、キャリア教育関係を中心に掲載します。
発行：学校長 栗國静夫



ひまわり



美咲特支 HP



新年明けましておめでとうございます。



新年明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いたします。
令和5年は卯年です。子どもたちの笑顔あふれる美咲特別支援学校がうさぎのように、ぴよんと高く「飛躍」「向上」する一年となりますよう、教職員一同邁進してまいりますので、保護者の皆さまには相変わらぬ、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

【美咲特別支援学校 校長 栗國静夫】



行事の風景・授業の様子



☆中学部3年「修学旅行」

中学部3年生は、11月30日(水)～12月1日(木)に一泊二日で北部方面を観光し、3年生21名、職員15名、計36名が参加しました。



1日目は、古宇利島オーシャンタワーでカートに乗って店内入口まで上り、高台のレストランで海を見ながら昼食にアグーのハンバーグをおいしくいただきました。その後さらに展望台まで上って景色を眺め、生徒達は美しい絶景に大興奮でした。古宇利島を出た後は、海洋博の美ら海水族館を見学し、ジンベイザメやマンタ、様々な魚たちを見て癒やされていました。続いてパイナップルパークでは、社会科で沖縄の特産物について学習したことを答えながら見



学する生徒や恐竜ゾーンでは、リアルな恐竜に目を輝かせる子や恐竜に詳しい子、驚いている表情を見せる子等、可愛い姿も見られほっこりしました。

宿泊先のかりゆしビーチリゾートホテルでは、夕食に焼き肉バイキングがあり、初めて自分で肉を焼くことに挑戦する子やバイキングで列に並んで丁寧に食材を取り、席でお行儀良く食べる姿が凄く頼もしく見えました。各部屋では、親もとを離れ友達と一晩を過ごしながらかしやべりを楽しむ様子や先生に甘えたりする様子などもありながらあっという間に朝を迎えました。



2日目は、恩納村のお菓子御殿で紅芋タルト作り体験をし、「家族にプレゼントする～」と一生懸命タルト生地を成形したり、慎重に紅芋クリームを絞ったりと真剣な表情で制作

していました。昼食は、名護市のゆがふいでバイキングをし、ピアノの生演奏が流れる中、優雅に食事をいただき、スイーツを持ち寄って生徒主体の女子会が開かれ、大人顔負けの生徒達の姿が面白かったです。修学旅行最後の見学地は、ネオパーク沖縄へ行き、沖縄の歴史に出てくる軽便鉄道に乗車し、紹介アナウンスを聞きながら、アマゾンイメージした園内を回りました。徒歩のコースでは、野鳥に近い距離で触れ合いながら餌やりをし、スナネコやカンガルー、レッサーパンダ等の様々な動物達とも出会いながらウォーキングを楽しみました。



新型コロナウイルスの影響により、県外旅行から県内旅行に変更になりましたが、保護者の皆様のご協力の下、予定通りに修学旅行

を実施することができ、中学校生活最後の思い出として有意義な修学旅行になりました。 【文：修学旅行担当 大見謝 亨】

☆中学部1年生「書き初め」

真っ白な和紙にたっぷり墨を付け、大きく「夢」と書きました。中学部1年生の書き初めの様子です。新しい年が明け、学習の上達を願い、一人ひとり、力づく、今年最初の筆書きをしています。



☆中学部2年生「数学」

グラフの学習で、那覇市と新潟市の1月から12月の各月の気温の表から棒グラフを作成して、2つの市の気温の変化を比較する課題に取り組んでいます。



さすが、中学部になると難しい学習にも取り組んでいますね。

☆第45回高等部校内マラソン大会

1月13日(金)に高等部校内マラソン大会がありました。天気も快晴で素晴らしいマラソン日和となりました。この日に向けて、体育の授業等で走る練習をたくさんしてきた生徒たちですが、中には長い距離を走ることが苦手な生徒もたくさんいます。しかし、苦手意識を持った生徒もゴールを目指して自分のペースで一生懸命走る姿が多く見られました。今回のマラソン大会では、タイムレースとトリムに別れており、トリムでは走る前に完走時間を申告し、本番のタイムとの誤差で順位を決定しています。



【マラソン大会の結果】高等部の皆さん、お疲れ様でした！！

種目	1位	タイム
男女500mトリム	T・Sさん	3分16秒 (+16)
男子1000mトリム	S・Hさん	17分45秒 (-15)
女子1000mトリム	S・Kさん	14分10秒 (-50)
男女1500mトリム	K・Tさん	10分30秒 (+3)
女子1500mタイム	K・Kさん	7分54秒
男子2000mタイム	H・Mさん	7分48秒



☆「第8回買ってくだ祭☆みさき市」

令和5年1月27日(金)に高等部販売会「第8回買ってくだ祭☆みさき市」を行います。今年は、コロナウイルス感染防止の観点から参観を高等部保護者のみとして開催します。時間は10:30～11:30の1時間です。生徒が1年間の学習の成果を披露する機会となっています。農業班・木工班・家庭班・窯業班・トータルサービス班・チャレンジ班・センター分教室・美里分教室の全8班が出店します。

目ざらから、災害に備えよう！

【校長 栗國静夫】

先日、新聞に1923年(大正12年)9月1日に発生した「関東大震災」から、今年で100年の節目になるそうです。また、まだ記憶に新しい2011年3月11日に発生した「東日本大震災」から12年目で、今年と同じ卯年となります。

今から9年ほど前に「東日本大震災」の被災地である宮城県を

訪問する機会を得ました。震災から2年余り経過していましたが、海に面した港町や住宅街はすべて津波に洗い流されて、まるで埋め立て地のような何も無い更地になっていて、あらためて自然の力の巨大さと怖さを感じました。

「天災は忘れた頃にやってくる」明治時代の地震学者の寺田寅彦の言葉です。日本は世界的に見ても地震が頻発する地震大国です。ほぼ毎日、小さな地震が国内のどこかで発生しているそうです。寺田寅彦の言葉とおり、天災と言われる大きな災害は「忘れた頃」つまり、いつ起こるか分かりません。ですので、日ごろから災害に備えることが、とても大切になります。

そのため、学校としては、もし自然災害や火災などが発生した場合でも、安全に確実に保護者の方にお子さんを引き渡す体制を整備する必要があります。

現在、学校では子ども達や職員が年2回の火災・地震津波避難訓練を行い、万が一の災害に備えています。令和5年度は保護者の皆さまのご理解とご協力を得て、PTAと連携して災害時にお子さんの保護者への引き渡し体制整備を行って参りたいと考えております。今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。

【防災まめ知識】

もし、災害が起こった場合、「避難場所」と「避難所」の違いを知っていますか？

◎「避難場所」とは、災害や火災などから身を守るため、一時的に逃げ込む場所で、大きい公園など、広いスペースのあるところ。

◎「避難所」とは、災害のため自宅にすることが困難になった場合、一定期間、避難生活をする場所で、学校や公民館などが指定されます。

※津波の危険性がある地域では「津波避難場所」として、高台や津波避難ビルが指定されています。

こうした避難先を知るために役立つのが「防災マップ」です。各市町村が発行しているもので、地図に色の違いにより津波などによる浸水予測が表されています。

自分の判断で安全に避難するために、自宅のある地域の「防災マップ」を見て、避難場所や避難所、危険な場所などを知っておきましょう。



☆成人式(二十歳の集い) (2023年1月15日)

美咲特別支援学校本校43期生、はなさき分校7期生の卒業生のうち、34名の二十歳の成人が参加して行われました。挨拶やお祝いの言葉の後、集合写真を撮影しました。男子も女子もおしゃれをして、スーツやワンピースなどを着ていて、中には振り袖の女子やはかま姿の男子もいて、色とりどりにぎやかな集合写真になりました。余興では女性デュオ「ジーファ」が三線と素敵なハーモニーで、会場と一体になって盛り上がっていました。ダンスのあと、美咲・はなさきの成人代表から挨拶があり、これから社会人としての意気込みや希望を誓う内容で、とても感動しました。



「きれいに咲こうよ、咲かそうよ」、どうぞ、みなさん、自分らしく、自分らしい大きな花を咲かせてください。

私の一冊

【職員のお勧めの本、参考にしている本などを紹介！】

『くろは おうさま』

文：メテナ・コティン 絵：ロサナ・ファリア
訳：うのかずみ 出版社：サウザンブックス社
(文：高等部美里高校分教室 教諭 喜久川義弘)



【みさきっ子のみなさんへ】

この本は、ふつうの本とはちがうんです。だって、黒のインクしか使われていないんです。どのページをめくっても、くろ、くろ、まーっくろ。でも本の中に出てくるのは、赤いおいしそうなイチゴや黄色いふわふわのヒヨコの羽、それに茶色いチョコレートのおいがするはっぱ！ まっくろの本なのに、色が分かる。ほら、どうしてだか、知りたくなってきたでしょう？すべては知ることからはじまるんです。さあ、いっしょにページをめくろう！

3年前に初めての特別支援学校勤務となり、目の前の生徒にどのように授業をしたら良いのか、そしてどのように支援をしていけば良いのか、分からずにもがいた日々がありました。そんなときにこの本は、見えることだけが全てではないことを教えてくれました。「トマスがいったよ。きいろはからし。ぴりりとからいけど、ヒヨコのはねみたいにフワフワ」「あかはイチゴみたいにすっぱくて、スイカみたいにあまい。だけどすりむいたひざこそうからのぞいたときはいたい。」(本文P1~4より引用)

私たち大人はこれまでの経験がある故に、見えていることだけを現実として認識してしまいがちです。私の見えている「あか」とあなたの見えている「あか」が違うように、子どもたちの見えている「あか」はすっぱかったりあまかったり、そして時にはいたかったりするのかもしれない。

子どもたちは、見えていることだけでなく、音や味、匂いや手触りなど、様々なことをそれぞれに解釈しながら現実を捉えているのだと、この本は教えてくれます。目の前の子どもがどう感じたのかを、私たち大人が知ろうとすることから全ては始まるのだと、この本に気づかされました。

【お知らせ】

この学校だよりは、教育センター分教室のオフィス・アシスタント班の生徒たちが、印刷と配付作業を担当しています。

美咲青年教室の活動紹介

☆クリスマス会 (2022年12月18日)

すこし、ひんやりとした体育館。あたたかい沖縄でも、クリスマスの雰囲気を感じられる中で、待ちにまったクリスマス会がありました。



みんなでダンスをしたり、歌ったり、そしてビンゴゲームでは豪華賞品？をかけて、みんな真剣にビンゴカードとにらめっこしていました。また、二人のサンタさんが舞台の前で歌って踊って、おいに会場を盛り上げてくれました。

とても楽しかったクリスマス会。今日はほっこり、身体も心もあたたかくなりました。みんな、メリークリスマス！